

講演

講演者

認定子育てアドバイザー

帝京短期大学子ども教育学科非常勤講師

宗藤 純子

講演テーマ 「思春期の子どもに

『何があっても大丈夫～そのままのあなたで』と言えますか？

1 はじめに

新型コロナ流行中の「家庭」という場で、どのように親子で過ごされましたか？子ども達と家族の対話はある



ましたか？新型コロナとの共生時代、向き合いながら生活するのは新型コロナだけでなく、今一度、思春期中期の高校生のお子さんと「人としての子どもとの心のつながり」を改めて考える機会になれば幸いです。

2 子育ては個（性）育て、己育て

時代は保護者の皆さまが育った昭和から2つも進みました。今は情報過多で社会も多様化、生き方の多様化は多様なニーズを求めます。今の高校生の青春時代は昭和の親世代の青春時代とは大きく異なる時代です。

そして家族のあり方も多様である昨今、女性たちも社会とつながる選択肢と共に、核家族化が進む一方で、産前産後子育ても疲労し、産褥産後ケアの制度の必要性も出てくる現状は、どの家庭でも迷いができます。

保育・教育に携わった者としても、親になるという経験は『子育ては個（性）育て』、己育て、と実感しております。

3 思春期時期・子どもたちとのかかわり

青年期の大事な課題は「自分が何者であるかを知り、自分が自分であることを確信すること」、アイデンティティの確立時期。性のありかたも多様です。日本の子どもたちは、高校生たちは「自分」になれているのでしょうか？

思春期の反抗は親の愛を確認する作業で、親に頼らずやりたいという気持ちと、自信がない、親

に心配をかけたくないという気持ちが複雑に絡み合っています。成長を見守る姿勢が大事ではないでしょうか。

4 子どもたちを取り巻く現状

- ・親の時代にはないコミュニケーションツール
- ・子どもの貧困…7人に1人
- ・児童虐待
- ・いじめ・不登校・デートDV・自殺

9月に発表された子どもの幸福度ををはかるユニセフ＝国連児童基金の調査においては、日本は先進国や新興国など38か国中、20位。身体の健康の分野では1位。精神的な幸福度は37位。

「精神的な幸福度」とは生活満足度と自殺率で指標化し、1位がオランダ、15歳の子どもの生活満足度が高い割合は、オランダが90%と最高、日本は62%でした。

5 大人自身が自分を大切に

生まれてきた子どもたちが、自分で決めて、自信をもって生きていける羅針盤を渡すためにもう一つ大事なことは、大人自身が自分を大切にできていて、幸せであることではないでしょうか？

そして、「生まれてきてくれてありがとう」と伝えてあげられる大人であってください。「あなたはあなたでいい、何があっても大丈夫」と伝えてあげられますか？そのためには、私たち親自身が「大丈夫」と思えることが大事です。

心とカラダへ暖かい、斜めの関係性の信頼できる大人が増えてほしい。子育てに成功も失敗ありません。思春期は親子の関わりを見直すための、子どもと向き合う勇気の時間です。一人ひとりが大切な人。大事ないのちなのです。